

破 戒

—この戒めを破り、
明日を生きる—

日時

令和8年11月7日(土)
14時00分から16時20分
(13時30分開場)

会場

西鉄ホール
(福岡市中央区天神2丁目11番3号
ソラリアステージビル6F)

参加費

無 料

定員

200名(申込要・先着)

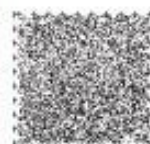
主 催：福岡市人権啓発センター（ココロンセンター）

問い合わせ先：福岡市人権啓発センター「ココロン映画会担当」

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ8階

【電話】092-717-1237 【ファクス】092-724-5162

Uni-Voice



瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教員たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。

—この戒めを破り、
明日を生きる—



●タイムスケジュール 13:30 開場・受付開始 14:00～14:10 開会・主催者挨拶 14:10～16:10 映画上映 ※字幕付上映 16:20 閉会

申込方法

氏名、電話番号、メールアドレスを記載の上、人権啓発センターホームページ申込フォーム、メール、FAX、はがきにより申込み。
※定員を超過した場合のみ、ご連絡いたします。



▲申込みはこちら

締切

令和8年10月30日(金) ✉ jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp

FAX申込フォーム ※1枚につき1名ご記入ください。

FAX番号 092-724-5162

ふりがな			
氏名		電話番号	- -
E-mail			
その他	配慮してほしい事項（車椅子席の確保、手話・要約筆記が必要等）		